

授業改善推進プラン〈社会科〉

社会科における昨年度の授業改善推進プランの検証

＜成果＞

○地図を積極的に扱い見方を指導するとともに、教室内に地図を掲示するなど日常的に地図にふれさせるようにしてきた。その結果、地図を読み取る力や区や県や国についての知識理解が深まってきている。

○資料の読み取り方に力を入れ、分かった事を整理しそこから考えられることを表現させ、全員が共有できるような授業を行ってきた。その結果、一つの資料をていねいに読み取り、事実を根拠に考察できる力が付いてきている。

＜課題＞

●資料の読み取りについて、複数の資料（地図記号と方位やグラフと年表など）を読み取ったの考察が困難な実態がある。引き続き、資料の読み取り方をパターン化し習慣付け、正確に読み取れるようにしていく。また、資料の読み取りやその関連が視覚的に分かるよう、矢印や丸で囲み、事実関係を文章表現するなどの指導をしていく。

●必要な社会科用語をしっかりと理解できていない現状がある。単に言葉を強調するだけでなく、授業のまとめをする際に、その用語を使って児童自身が説明するまとめを行い、用語とその意味の理解を深める。

社会科における調査結果の分析

内容別結果の分析	学年	○校内平均が目標値に対して上回っている領域と内容 ●校内平均が目標値に対して下回っている領域と内容		考 察
	4年生	地域や市の様子 生産や販売 安全を守る働き	市の様子 工場の仕事 店ではたらく人 安全なくらし ー 火事 ー 事故や事件	○建物の地図記号について理解している。 ○地図記号や方位の理解をもとに、土地の様子について地図を読み取っている。 ○食品の送り先について、資料を読み取っている。 ○生産者カードに着目して、スーパーマーケットの販売の工夫を考え、判断している。 ○火災発生時の連絡系統について理解している。 ○地図記号や方位の理解をもとに、与えられた条件から目的地を読み取っている。 ●火災発生時の通報の仕組みや消防設備の設置場所と役割を考察することに課題がある。 ●2つの資料を調べて考えたことを文章で表現することに課題がある。

	5年生	<p>都道府県の様子</p> <p>生活環境を支える活動</p> <p>自然災害から暮らしを守る活動</p> <p>伝統や文化・先人の働き</p> <p>特色ある地域の様子</p>	<p>地図の見方</p> <p>都道府県の様子</p> <p>くらしをささえる水</p> <p>ごみのしよりと利用</p> <p>自然災害から暮らしを守る —地震</p> <p>先人の働き</p> <p>特色ある地域の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地図の縮尺の理解をもとに、距離を読み取ることに課題がある。 ●都道府県の位置や名称、特色の理解に課題がある。 ●2つのグラフに着目して、その関連性をとらえ、読み取ることに課題がある。浄水場できれいな水が作られるまでの様子の理解に課題がある。 ●毎日の生活の中での取り組みに着目して共通項をとらえ、その目的を表現することに課題がある。 ●資料に着目して、町が整備している防災無線の役割を捉え、判断することに課題がある。 ●年表の読み取りや、2つの資料を関連付けてとらえ、判断することに課題がある。 ●資料に着目して三川内焼ができるまでの様子を読み取ったり、産業会館の取り組みの理由を理解したりすることに課題がある。
	6年生	<p>国土の自然などの様子</p> <p>農業や水産業</p> <p>工業生産</p> <p>国土の自然環境と国民生活</p>	<p>世界の中の国土</p> <p>日本の国土と人々のくらし</p> <p>日本の食料生産</p> <p>工業生産と工業地域</p> <p>自然環境と国民生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の位置について、周囲の大陸名や海洋名とともに理解することに課題がある。 ○北方領土について理解している。 ●日本海側の気候についての理解をもとに、雨温図を判断することに課題がある。 ○地産地消の取り組みについて理解している。 ●食料自給率のグラフの読み取りに課題がある。 ○太平洋ベルトについて理解している。 ○資料に着目して、日本の輸入品の変化について、その背景を捉え、判断している。 ●日本の工業生産についての資料の読み取りに課題がある。 ●世界自然遺産である白神山地の位置の理解をもとに、地図を読み取ることに課題がある。 ●森林の役割と保全の大切さについての理解に課題がある。

観点別結果の分析	課題のある観点領域	
	4 年 生	●知識・技能、主体的に学習に取り組む態度において目標値を上回っている。思考・判断・表現のみ下回っている。
	5 年 生	●知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、どの観点においても目標値を下回っている。
	6 年 生	●知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、どの観点においても目標値を下回っている。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 社会科用語や知識理解の定着。
- 2 資料の読み取り方のパターン化と習慣付け。
- 3 複数の資料の読み取りによる考察や自分の考えを表現する力の向上。

社会科の授業改善策

- 1 知識・理解の定着を図るために
 - ・キーワードとなるような用語を目立つ形で板書する。(その用語の意味も押さえる。)
 - ・毎時間、前時の振り返りを用語やその意味を提示するなどして行い、本時の学習に入る。
 - ・授業のまとめの際、キーワード(社会科用語/教科書では「ことば」として示されている)をできるだけ使って児童が「説明する」視点でまとめの文を書かせる。
 - ・東京ベーシックドリルやドリルパーク、ラインズeライブラリを繰り返し活用し、東京の区市町村・地形、都道府県の位置を理解させる。
- 2 資料の正確な読み取りを図るために
 - ・地図の見方の指導(地図記号や方位など複数の知識を関連させて)を中学年から行っていく。
 - ・東京ベーシックドリルを活用し、地図資料の読み取り問題に取り組む。
 - ・資料の読み取り方の手順をパターン化する。

【例】グラフの場合

 ①グラフのタイトル→②出典と発行年→③縦軸と横軸→④全体はどのように変化しているか→⑤変化はどこが大きくて、どこが小さいかを毎回読み取りの手順として示し、習慣付けていく。
 - ・個人で読み取る時間とグループや全体で共有する時間の両方を確保する。
 - ・教科書の資料だけでなく、教師の意図した資料や資料集の資料などを使って類題に取り組み、自力で読み取る練習を行う。
- 3 資料の考察や自分の考えを表現する力の向上のために
 - ・グループ内での発表やペアでの発表、タブレットによる考えの共有など一人一人が発表する場を多く作る。
 - ・資料から読み取ったこと(事実)を資料に書き込む習慣を付け、考えの根拠を明確に捉えることで、安心して発表などの表現ができるようにする。